

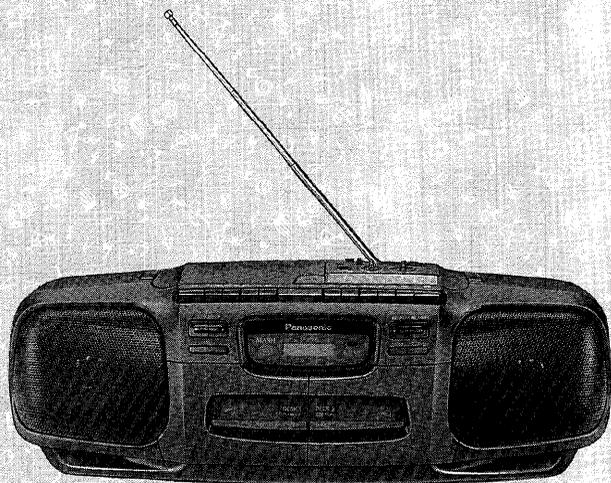
品番 RX-DT45

Panasonic®

ポータブル ステレオCDシステム

取扱説明書

保証書別添付



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

このたびはポータブルステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節電

もくじ

準備

必ずお守りください	2
付属品	2
電源の準備	2
各部のなまえ	3
ヘッドホンで聞く	3

演奏

ラジオを聞く	4
テープを聞く	5
CDを聞く	6

録音

CDを録音する	8
テープからテープに録音する (テープダビング)	10
マイクから録音する	11
ラジオ放送を録音する	12

参考

カラオケを楽しむ	13
CDについて	14
テープについて/テープの音を消すには	14
主な仕様	15
お手入れ	16
著作権について	16
故障かな!?	17
別売り品について	17
保証とアフターサービス	18

RQT2702-S

必ずお守りください

準備

■電源は、AC(交流)100Vで

電源コードは正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると危険です。

- ・プラグを持つ
- ・ぬれた手でさわらない
- ・重いものを載せない
- ・無理に曲げない

■加工、改造はしない・異物はいれない

感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

■水・薬品はかからないように

引火、火災や感電のおそれがあります。また、本機の上に可燃性ガスの入ったヘアスプレーなどを置かないでください。

■設置は安定した、風通しのよいところに

本体表面や部品をいためますので、次のようなところは避けてください。

- ・湿気の多いところ
- ・倉庫などほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところなど、温度が高いところ

■夏の閉め切った車内に放置しない

100°Cに達することもありますので、本体表面が変形、変色することがあります。

■乾電池の取り扱いについて

破裂・液漏れ防止のために、次のことをお守りください。

- ・新しい乾電池と使用した乾電池と一緒に使わない。
- ・違う種類(マンガンとアルカリなど)の乾電池と一緒に使わない。
- ・⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
- ・充電をしない。
- ・長期間使用しないときや本体電源をいつも家庭用コンセントで使用するとき、乾電池を取り出しておく。
- ・火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

■長期間使用しないときは

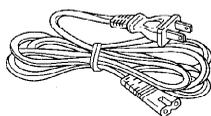
思わぬ事故を避けるため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

■万一、故障が起きたら

電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品 ご使用の前にお確かめください。

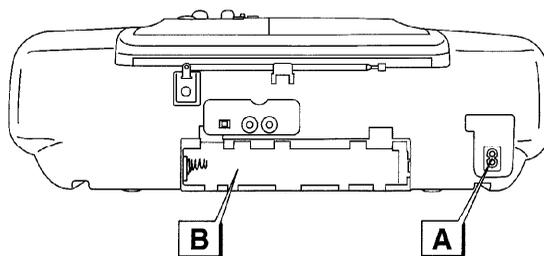
- 電源コード(1)



付属品の買い換えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単1形乾電池が使えます。



家庭用コンセントで **A**

家庭用コンセント (AC100V、50/60Hz)

AC IN~

電源コード (付属)

乾電池(別売り)で **B**

電源コードを後面のAC IN~端子から抜き、乾電池を番号順に入れる。

単1形8個
⊖側に押しながら入れる

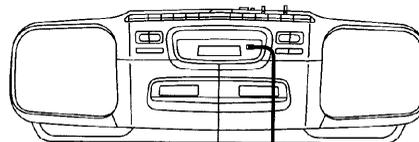
奥

手前

・出すときは、本機底面の穴に指を差し込み押し出す。

■乾電池の交換時期

演奏中に、電源/電池寿命確認ランプが消えている(または暗い)とき、電池をすべて交換してください。

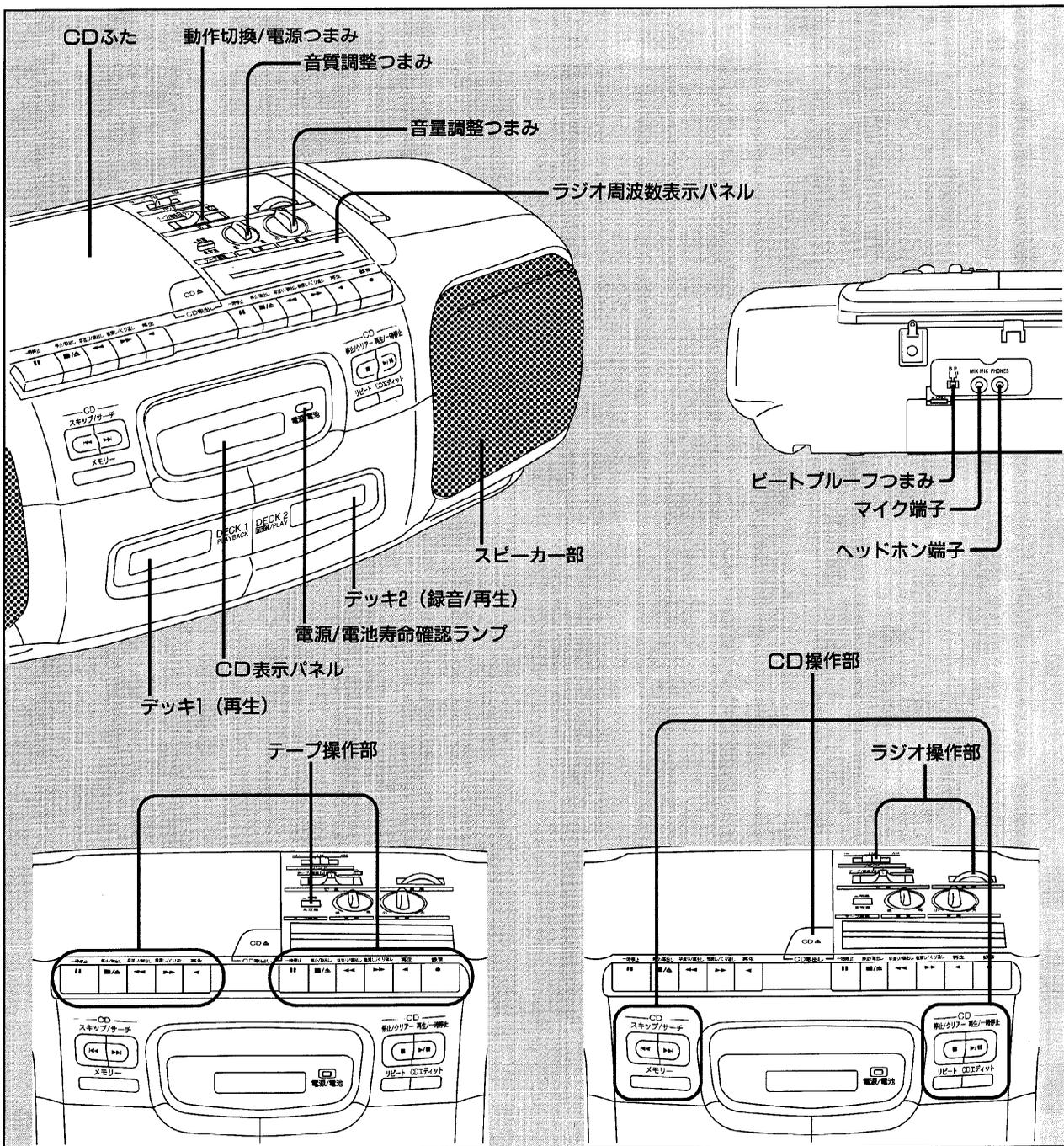


電源/電池寿命確認ランプ

ご参考

長時間使用されないときは、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。動作切換/電源つまみを“テープ/電源切”にして電源を切ただけでは、約2.5Wの電力を消費しています。

各部のなまえ



準備

ヘッドホンで聞く

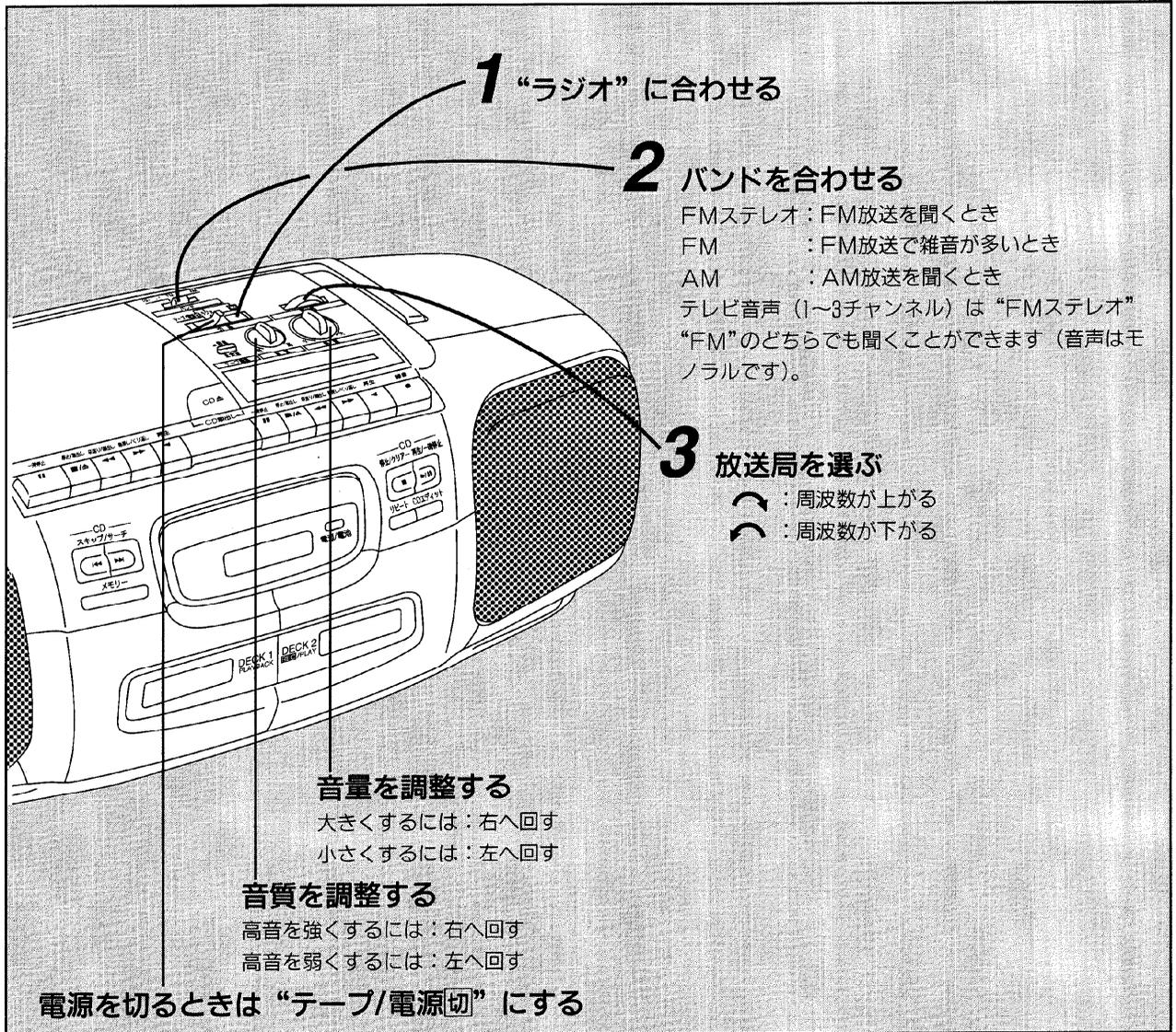


- ・音量を下げてから接続してください(プラグタイプ：ステレオミニ)。
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

ラジオを聞く

FMはステレオで、AMとテレビ音声(TV1~3チャンネル)はモノラルで楽しめます。

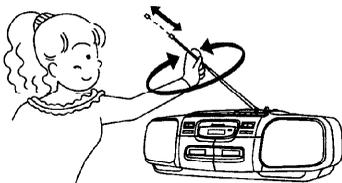
演奏



■アンテナの調整

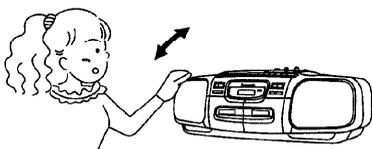
FM放送受信のとき

ホイップアンテナの長さとお向きを調整する



AM放送受信のとき

本機の向きを調整する



■FMステレオ放送で雑音が多いとき (ステレオ/モノラル切替)

FMステレオ FM AM バンド切替つまみを“FM”に合わせる
バンド

モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。

通常は“FMステレオ”に合わせてください。

■ご注意

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

4

乗物や建物の中では電波が弱まるために放送が聞こえにくくなる場合があります。できるだけ窓際でお聞かせください。

テープを聞く

- ・ノーマルテープが使えます。
- ・デッキ1、デッキ2のどちらでも再生できます。
- ・本機では、クローム、メタルテープを使っても、その特性を生かすことができません。

再生できるテープ

ノーマル Normal/TYPE I	○
クローム CrO ₂ /TYPE II	×
メタル Metal/TYPE IV	×

ここではデッキ2で説明します。

1 “テープ/電源切” に合わせる

2 カセットふたを開け、テープを入れて閉める

演奏を始める面を手前に
テープが見える方を上に

3 再生を始める
電源が入ります。
(電源/電池寿命確認ランプ点灯)

再生を止める
電源も切れます。

一時停止する
再び再生するときにはもう一度押す

音量を調整する
大きくするには：右へ回す
小さくするには：左へ回す

音質を調整する
高音を強くするには：右へ回す
高音を弱くするには：左へ回す

フルオートストップ機能
再生/録音中または早送り/巻戻し中、テープ終端に来ると自動的に停止します。

演奏

■早送り、巻戻しをする **A**

停止中に

早送り/頭出し/巻戻し/くり返し **早送り/頭出し** を押す
巻戻し/くり返し を押す

■ご注意

早送り、巻戻し中に **再生** を押すと、テープが回転部分に巻きこまれてしまうおそれがあります。必ず**停止/取出し** を先に押してテープを止めてから、**再生** を押してください。

■聞きたいところをさがす **A**

再生中に

早送り/頭出し/巻戻し/くり返し **早送り/頭出し** を押す
巻戻し/くり返し を押す

ボタンを押している間はキュルキュルと音がします。指を放すと再生にもどります。

■2本のテープを続けて聞く

デッキ1の片面の再生が終わると、自動的に続けてデッキ2を再生できます。

1. デッキ1と2にテープを入れる
2. デッキ1の **再生** を押す (再生が始まります。)
3. デッキ2の **一時停止** を押し、 **再生** を押す。

CDを聞く

演奏

電源を切るときは
“テープ/電源切”にする

1 “CD” に合わせる
電源が入ります。
(電源/電池寿命確認ランプ点灯) CDが入っていないことを表します。

2 CDふたを開け、
CDを入れて閉める

文字のある面を上

総曲数 総演奏時間

3 演奏を始める
最終曲まで演奏し自動停止します。

演奏中の曲番 曲ごとの演奏経過時間

演奏を止める 演奏を一時停止する
再び演奏するときはもう一度押す

音量を調整する
大きくするには：右へ回す
小さくするには：左へ回す

音質を調整する
高音を強くするには：右へ回す
高音を弱くするには：左へ回す

■曲をとび越す(スキップ) **A**

CD スキップ/サーチ

▶▶ を押して、次の曲の頭にとび越す
◀◀ を押して、今の曲の頭に戻る

- 同じ操作をくり返すと、押した回数だけとび越します。
- 停止中に操作すると、曲番だけを表示します。

表示した曲から演奏するには、
再生/一時停止 を押します。

■早送り、早戻しする(サーチ) **A**

CD スキップ/サーチ

▶▶ を押しつづけて、早送りする
◀◀ を押しつづけて、早戻しする

ボタンを押し続けている間、早送り、早戻しします。

■くり返し聞く(リピート) **B**

全曲をくり返し聞くには

リピート リピート を押す
(CD表示パネルに 表示が点灯)

1曲だけをくり返す・または好みの数曲をくり返すには

- 1 プログラムプレイ(7ページ手順1、2)で好みの曲を選ぶ
- 2 リピート を押し、 表示を点灯させる
- 3 再生/一時停止 を押し、演奏を始める

解除するには

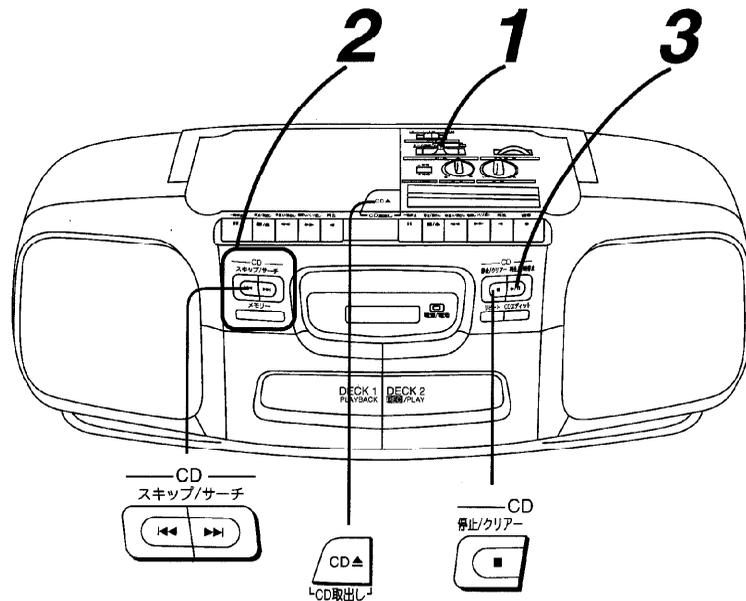
もう一度 リピート を押し、 表示を消す

ご注意

- CD演奏中に、他のラジオやテレビに雑音が入るときは、できるだけ本機と離してください。
- 演奏中に を押さないでください(CDを傷つける恐れがあります)。

好みの曲を選んで聞く (プログラムプレイ)

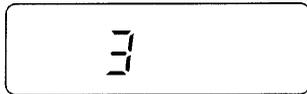
最大16曲まで選んで好みの順に予約できます。



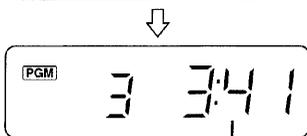
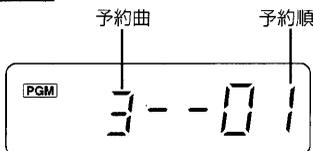
1 動作切換/電源つまみを“CD”に合わせる

2 曲番を指定する

① CDの 、 を押して曲番を表示させる



② を押す



続けて予約するときは、①、②をくり返す。

3 **再生/一時停止** を押して演奏を始める
予約順に演奏し自動停止します。

解除するには

停止中にCDの を押す

“--:--”と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が100分を超えました。ただし、予約や演奏はできます。

“FULL”と表示されたら

予約曲が16曲を超えました。これ以上予約できません。

■予約内容を確認するには

手順3のあと演奏中に を押すと、または動作切換/電源つまみを切り換えてまた“CD”に合わせると、以下の表示が出て、予約内容を確認できます。

予約した内容を記憶していることを表します。



予約内容を確認するには、停止中にCDの 、

を押す

押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

◎**ご参考**

- ・予約した内容は、途中で演奏を止めたり、電源を切っても記憶しています。
- ・ を押すと、予約した内容は消えます。

CDを録音する (デッキ2のみ)

録音できるテープ

ノーマル Normal/TYPE I	○
クローム CrO ₂ /TYPE II	×
メタル Metal/TYPE IV	×

録音開始と同時にCDの演奏が自動的に始まります。

- ・ノーマルテープが使用できます。
- ・本機では、クローム、メタルテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

録音

1 CDを入れ、“CD” に合わせる

2 デッキ2にテープを入れる
録音を始める面を手前に
テープが見える方を上に

3 録音を始める
ボタンを押すと同時にCDの演奏が始まり、録音されます。

- ・CDの演奏が先に終わると
テープは録音を続けます。
- ・テープが先に終わると
CDは演奏を続けます。

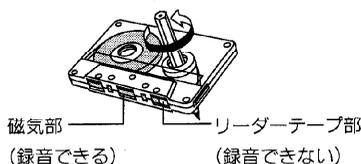
録音を止める
録音を一時停止する
再び録音するときにはもう一度押す

■好みの曲を録音するには

テープを入れ、好みの曲を予約した (7ページ手順1~2) 後、録音を始める

■リーダーテープを巻き取るには

リーダーテープ (テープの端にある透明な部分) を巻き取っておかないと、曲の頭が切れることがあります。



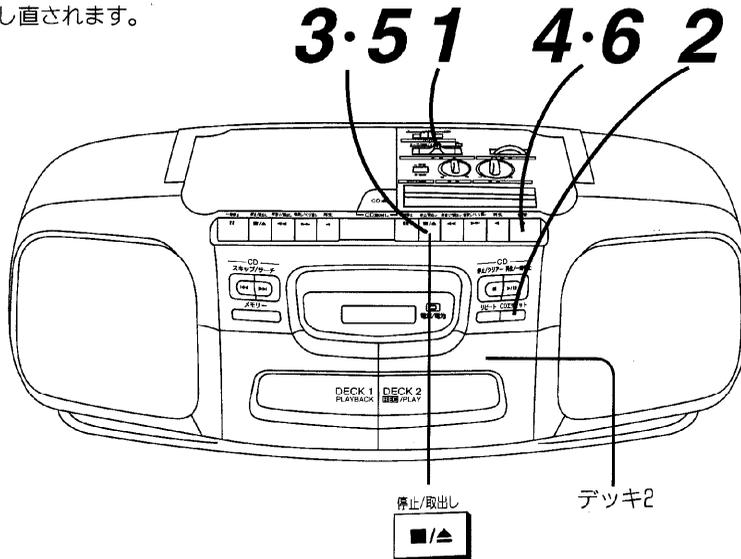
■数枚のCDを続けて録音するには

1. 1枚目の録音を始める
 2. CDの演奏が終わったら、**停止/取出し** を押してテープを止める
 3. ①CDを入れかえ、**録音** を押す
②CDの演奏が終わったら、**停止/取出し** を押してテープを止める
- 3枚以上録音するときは、2、3をくり返す。

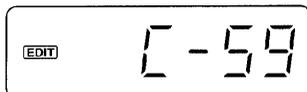
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

編集機能を使って録音する (CDエディット)

1本のテープに、曲順通りに全曲録音するとき使います。おもて面の終わりで曲が途切れることがあります。この場合、テープをうら面に入れかえて再び録音ボタンを押すと、途切れた曲は最初から録音し直されます。



- 1 CDを入れ、動作切換/電源つまみを“CD”に合わせる
- 2 テープを入れる前に **CDエディット** を押し、全曲録音に必要なテープの長さを表示させる



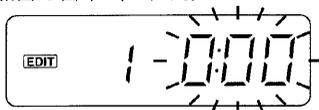
- 3 デッキ2の **停止/取出し** を押し、必要な長さのテープを入れる

(例：手順2の表示の場合60分以上のテープ)
テープは完全に巻き取っておきます。
おもて面を手前に入れて入れます。

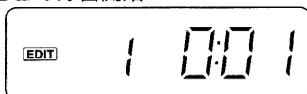
- 4 **録音** を押す

10秒間無音で録音したあと、CDの録音が始まります。

無音録音中 (10秒間)

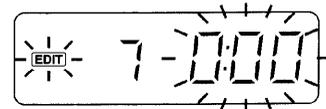


CDの録音開始 ↓



おもて面の録音が終わると

テープはおもて面の端で停止し、CDは一時停止します。



- 5 **停止/取出し** を押し、テープを裏返す

- 6 **録音** を押す

10秒間無音で録音したあと、CDの録音が始まります。

CDは、おもて面の最後で途切れた曲の最初から始まります。

全曲の録音が終わると

テープが残っていれば、テープの端まで無音で録音を続け、停止します。

録音を止めるには



停止/取出し を押す

ご参考

- ・録音レベルは自動的に設定されます。
- ・録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

テープからテープに録音する (テープダビング)

- ・ ノーマルテープが使えます。
- ・ デッキ1からデッキ2に録音できます。

録音

1 “テープ/電源切” に合わせる

2 デッキ2に録音用テープ、デッキ1に再生用テープを入れる
録音/再生する面を手前に入れて入れます。

- ・ テープの始めから録音するとき：
リーダーテープを巻き取る (8ページ)
- ・ テープの途中から録音するとき：
録音を始める位置を頭出しし、
停止/取出し を押して止める

3 録音の速さを選ぶ

- 定速：通常の時速
- ▲ 倍速：通常の時速の約1.7倍の時速

4 デッキ2の 一時停止 を押し、録音 を押す

5 デッキ1の 再生 を押して録音を始める
デッキ1の再生とデッキ2の録音が同時に始まります (シンクロスタート機能)。

デッキ1 デッキ2

録音を止めるには
デッキ1は再生を続けます。

録音・再生できるテープ

ノーマル Normal/TYPE I	○
クローム CrO ₂ /TYPE II	×
メタル Metal/TYPE IV	×

本機では、クローム、メタルテープを使うと、正しく録音されることがあります。

マイクから録音する

・再生用テープ（デッキ1）のおもて面が先に終わるとデッキ1が止まってもデッキ2は録音を続けます。

1. デッキ2の **停止/取出し** を押す
2. デッキ1の **停止/取出し** を押し、テープを裏返す
3. デッキ2の **一時停止** を押し、**録音** を押す
4. デッキ1の **再生** を押す

・録音用テープ（デッキ2）のおもて面が先に終わるとデッキ2が止まってもデッキ1は再生を続けます。

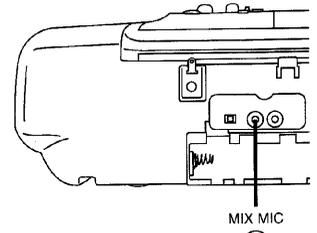
1. デッキ1の **停止/取出し** を押す
2. デッキ2の **停止/取出し** を押し、テープを裏返す
3. デッキ2の **一時停止** を押し、**録音** を押す
4. デッキ1の **再生** を押す

ご注意

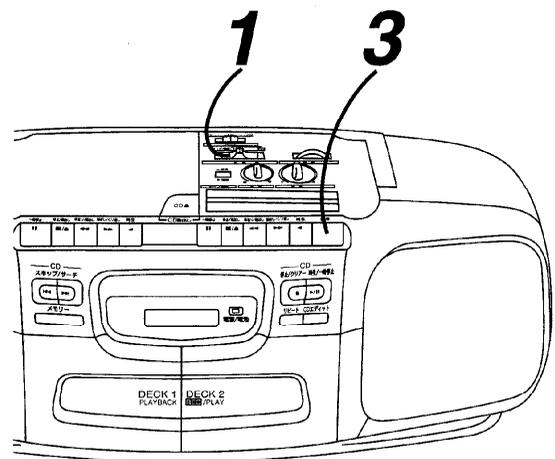
- ・録音中に動作切換/電源つまみを“CD”や“ラジオ”に切り換えないでください。
- ・録音中に **テープ編集** を押して録音スピードを切り換えないでください。
- ・録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が入ることがあります。1.5m以上離してご使用ください。

ご参考

- ・録音レベルは自動的に設定されます。
- ・録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・大切な録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。



マイク（別売り）プラグタイプ：モノラルミニ



- 1 動作切換/電源つまみを“テープ/電源切”にする
- 2 マイクを接続してつまみを“ON”にし、デッキ2にテープを入れる
- 3 **録音** を押して録音を始める

ご参考

マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

ラジオ放送を録音する (デッキ2のみ)

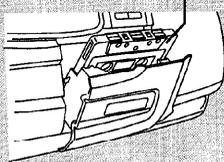
録音できるテープ

ノーマル Normal/TYPE I	○
クローム CrO ₂ /TYPE II	×
メタル Metal/TYPE IV	×

- ・ノーマルテープが使用できます。
- ・本機では、クローム、メタルテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

1 デッキ2にテープを入れる

録音を始める面を手前に
テープが見える方を上に



- ・テープの始めから録音するとき：
リーダーテープを巻き取る (8ページ左下)
- ・テープの途中から録音するとき：
録音を始める位置を頭出しし、
停止/取出し を押して止める

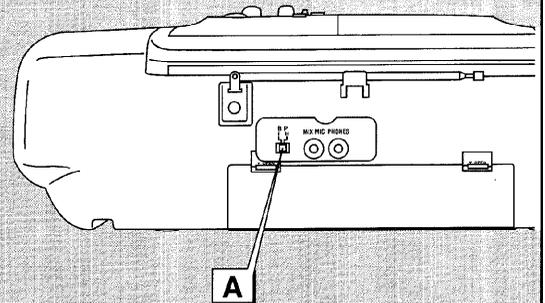
2 “ラジオ” に合わせる

3 バンドを合わせ、放送局を選ぶ (4ページ)

4 録音を始める

録音を止める

録音を一時停止する
再び録音するにはもう一度押す



ご参考

- ・録音レベルは自動的に設定されます。
- ・録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・大切な録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐために、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

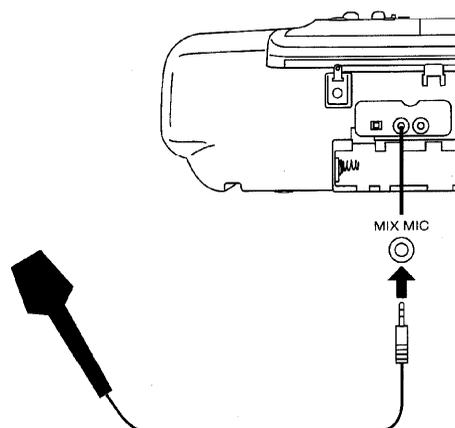
■AM放送録音中、雑音 (ピーという音) が多いときは **A**



BP (ビートプルーフ) つまみを雑音の少ないほうに切り換える

録音

カラオケを楽しむ

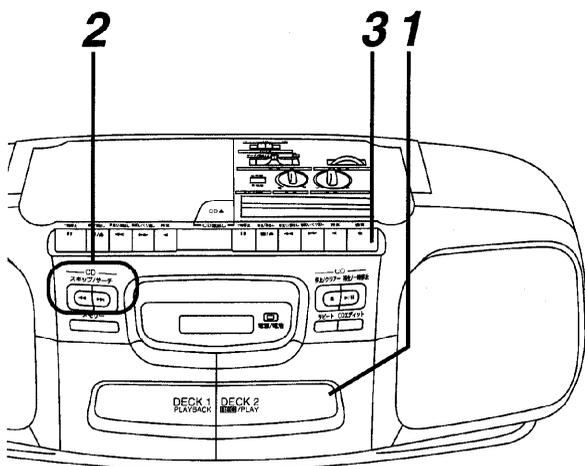


マイク(別売り)プラグタイプ:モノラルミニ

■カラオケをする(マイクミキシング)

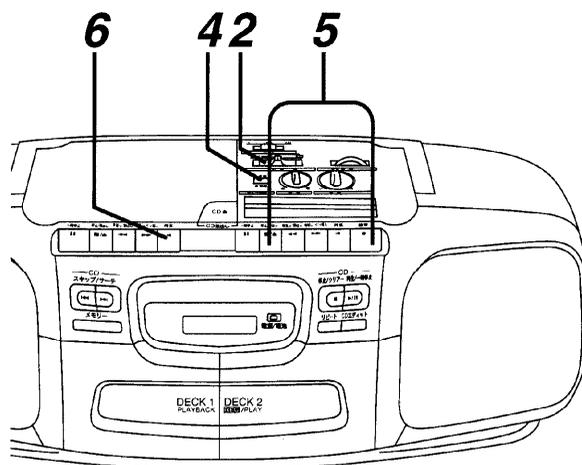
1. 音量を下げてマイクを接続する(プラグタイプ:ミニ)
2. CDやラジオ、テープを演奏する
3. マイクのつまみを“ON”にしてカラオケを始め、音量を調整する

■CDとのカラオケを録音する



1. マイクを接続し、デッキ2にテープを入れる
2. CDの **◀▶**、**▶▶** を押して好みの曲を選ぶ
3. **録音** を押す
演奏と録音が始まります。

■テープとのカラオケを録音する



1. 音量を下げてマイクを接続する
2. 動作切換/電源つまみを“テープ/電源切”に合わせる
3. デッキ2に録音用テープ、デッキ1にカラオケテープを入れる
4. **テープ編集** を押して「**■** 定速」を選ぶ
5. デッキ2の **一時停止** と **録音** を押す
6. デッキ1の **再生** を押す

参
考

■ご注意

- ・音声多重のテープやCDを使うとき、歌手の声を消すことはできません。
- ・CDとのカラオケをしているときは、CDの演奏中のみマイクからの音声が出ます。停止、または一時停止中に音声は出ません。

○ご参考

マイクを使用中ハウリング(ピーという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

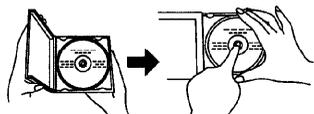
CDについて



のマークが入ったものをご使用ください。

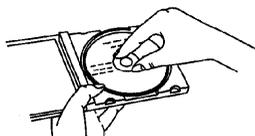
■出しかた

中心部を押さえて取り出す



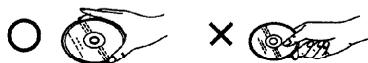
■入れかた

文字のある面を上にして、上から押さえて入れる



■持ちかた

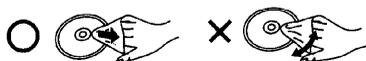
演奏面（光っている面）には触れない



■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、後は空ぶきをしてください。

内側から外側へ



■露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取り扱い上のご注意

- ・文字のある面には鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。紙やラベルなどを貼らないでください。
- ・演奏面（光っている面）には指紋や傷をつけないよう大切に扱ってください。レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールなどは用いないでください。

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

■90分を超えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

■エンドレステープについて

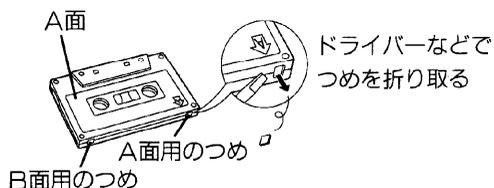
使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープに付いている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



■録音したテープを誤って消さないために



もう一度録音するには



保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・高温（35℃以上）高湿（80%以上）のところ
- ・磁気のあるところ（スピーカーの近くやテレビの上など）

■テープの音を消すには

マイクは抜いておきます。

- 1 消したいテープを入れる
- 2 動作切換/電源つまみを“テープ/電源”に合わせる
- 3 **録音** を押す

録音済みテープに新たに録音すると、前に録音した音は自動的に消えます。

主な仕様

■ラジオ部

受信周波数

FM:	76.0-108.0MHz TV; 1ch-3ch
AM:	525-1629kHz

■CDプレーヤー部

標準化周波数	44.1kHz
復号化	16ビット直線
光源	半導体レーザー(波長780nm)
オーディオチャンネル数	2チャンネルステレオ
ワウ・フラッター	測定限界以下
DAコンバーター	MASH※(1ビットDAC)

■カセットデッキ部

トラック方式	ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
モニター方式	バリアブルサウンドモニター
周波数範囲(ノーマルテープ)	50-14,000Hz(EIAJ)

■共通部

スピーカー	10cm×2個
入力端子	
MIX MIC	: 5mV, 適合マイクインピーダンス600Ω
出力端子	
PHONES	: φ3.5mmステレオ
実用最大出力(DC時)	5W+5W(EIAJ)

乾電池持続時間

ラジオカセット部	約19時間(EIAJ録音時)
	約10時間(EIAJ音楽再生時、Vol.6.5程度)
CD部	約5時間(CD連続演奏時)
	(別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20P使用時)

電源	AC100V, 50/60Hz
乾電池	DC12V(単1形乾電池8個)
消費電力	AC19W
最大外形寸法	580(W)×192(H)×260(D)mm(EIAJ)
重量	約5.5kg(乾電池を含む) 約4.5kg(乾電池なし)

電源「切」時の消費電力…約2.5W(ACの時)

- ・この仕様は性能向上のため、変更することがあります。
- ・乾電池持続時間は使用条件により、短くなることがあります。

※MASHはNTTの登録商標です。

お手入れ

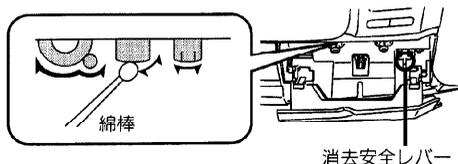
■本体表面部のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水が石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。

- ・化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。
- ・アルコールやシンナーは使わないでください。

■ヘッド部（テープが触れる部分）のお手入れ

よい音質で録音・再生するために、約10時間使うたびにカセットデッキ内部を清掃することをおすすめします。



1 **停止/取出し** を押す

2 **テッキ1**

再生 を押す（ヘッド部が下がってきます。）

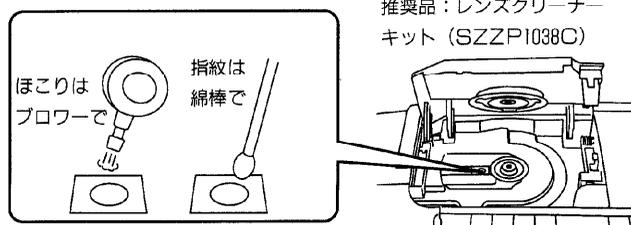
テッキ2

消去安全レバーを押さえながら、**録音** を押す（ヘッド部が下がってきます。）

3 綿棒にアルコール液またはクリーニング液をつけ、図の部分（テープが触れる部分）の汚れをふき取る
クリーニングキット：RP-919（別売り）

■CDレンズのお手入れ

レンズにほこりや指紋などが付きますと音飛びを起こしたり、正しく動作しなくなります。このことを防ぐため、1か月に2〜3度のお手入れをおすすめします。



・お手入れのあと、CDふたは必ず閉じておいてください。CDふたの内側に精密レンズが内蔵されています。特にこの部分にほこりが付かないようにしてください。

著作権について

- ・放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- ・従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- ・使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部、または、最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎03(3502)6551	北陸支部	☎0762(21)3602
北海道支部	☎011(221)5088	京都支部	☎075(251)0134
盛岡支部	☎0196(52)3201	大阪支部	☎06(244)0351
仙台支部	☎022(264)2266	神戸支部	☎078(322)0561
大宮支部	☎048(643)5461	中国支部	☎082(249)6362
東京支部	☎03(3562)4455	四国支部	☎0878(21)9191
西東京支部	☎03(3232)8301	九州支部	☎092(441)2285
横浜支部	☎045(662)6551	鹿児島支部	☎0992(24)6211
静岡支部	☎054(254)2621	那覇出張所	☎098(863)1228
中部支部	☎052(586)1155		

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください	処 置	ページ
共通	乾電池で動作しない。	電源コードが本体に差し込まれたままになっていませんか。	電源コードを抜く。	2
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。または電源を家庭用コンセントに変える。	2
		乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	2
CD部	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CDが表裏逆に入っていませんか。	文字のある面を上にして入れる。	6
		本体のCD部が露付き状態になっていませんか。	電源を入れ、1時間程度待ってから使う。	17
	特定の箇所が正しく演奏されない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	14
		CDに傷がありませんか。	新しいCDと取り換える。	
テープ部	カセットが取り出せない。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に取り換えるか、家庭用電源に切り換えた後、もう一度操作する。	2
	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	14
	雑音が多い。音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッドのお手入れをする。	16
ヘッドが磁気を帯びていませんか。		市販の消磁器で消磁する。		
ラジオ部	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナ調整のしかたが悪くありませんか。	アンテナの向きなどを変えてみる。	4
	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	リモコンを離す。	
		テレビと同時に使用していませんか。	テレビと距離を離す。またはテレビの電源を切る。	

■CD部のレンズに露が付いたら(露付き状態とは)

寒い冬、暖房の効いた部屋の窓ガラスに水滴が付きますが、この現象を露付きといいます。

本機はCD部にレンズを内蔵していますから、次のような場合レンズに露付きが起こることがあります。

- ・暖房を始めた直後の部屋
 - ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋
 - ・冷たいところから、急に暖かいところに持ち込んだとき
- このような場合、正しく動作しないことがあります。電源を入れ、約1時間待ってからご使用ください。

別売り品について

お求めのときは販売店へお確かめください。

- マイク RP-VK50
- コンパクトディスククリーナー RP-CL200
- ヘッドクリーニングキット RP-919
- レンズクリーナーキット SZZP1038C
- ヘッドホン RP-HT86

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ／
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ／

■保証書 (別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、保存してください。【保証期間：お買い上げ日から1年間】

■修理を依頼されるとき

17ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

下の「サービス伝言カード」をご使用になると便利です。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(切り取ってご利用ください)

〈サービス伝言カード〉

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店にお持ちください。

(ふりがな) お名前			
ご住所			
ご連絡先	電話() -		
商品名	ポータブルステレオ CDシステム	品番	RX-DT45
ご購入日		ご依頼日	
故障または異常の内容 (このような場所で、……していたとき、こんな故障になった)			
※私の希望修理代金は _____ 円までです			

北海道地区	
お客様ご相談センター	
北海道	☎ 011(221)8090 札幌市中央区北三条西1丁目
修理相談窓口	
札幌	☎ 011(894)1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17の7
旭川	☎ 0166(31)6151 旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎ 0155(33)8477 帯広市西19条南1丁目7の11
苫小牧	☎ 0144(32)9125 苫小牧市清水町2丁目2の2
函館	☎ 0138(53)7107 函館市山の手1丁目1の15

東北地区	
お客様ご相談センター	
東北	☎ 022(263)4208 仙台市青葉区国分町3丁目1の11
修理相談窓口	
青森	☎ 0177(39)9712 青森市大字ハツ俊字矢作1の37
八戸	☎ 0178(45)8665 八戸市城下4丁目22の25
弘前	☎ 0172(34)6006 弘前市代官町86
秋田	☎ 0188(26)1600 秋田市御所野湯本2丁目1の2
大館	☎ 0186(42)0815 大館市片山町2丁目3の6
横手	☎ 0182(32)1752 横手市横手町字一の口3
盛岡	☎ 0196(47)1741 盛岡市上堂1丁目18の22
水沢	☎ 0197(24)7999 水沢市中田町5の10
仙台	☎ 022(375)2512 仙台市泉区市名坂字清水端59の2
古川	☎ 0229(23)8121 古川市北町5丁目1の1
石巻	☎ 0225(96)3209 石巻市元倉1丁目6の10
仙南	☎ 0224(52)1842 宮城県柴田郡大河原町字綿町6の15
山形	☎ 0236(41)8100 山形市流通センター3丁目12の2
酒田	☎ 0234(26)5802 酒田市東羽町7の15
鶴岡	☎ 0235(22)3285 鶴岡市宝田1丁目1の12
新庄	☎ 0233(22)7166 新庄市小田島町5の40
米沢	☎ 0238(22)7141 米沢市金地8丁目3の13
郡山	☎ 0249(45)4463 郡山市安積町荒井字大久保39の1
福島	☎ 0243(34)1309 福島県安達郡本宮町字南ノ内65
福島北	☎ 0245(34)9121 福島市御山字一本木77の1
いわき	☎ 0246(34)5810 いわき市平中神谷字下知内59の4
会津	☎ 0242(22)6221 会津若松市町北町大字始字深町10

International Customer Care Center 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出製品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は…

TOKYO	☎ 03-3256-5444
AKIHABARA 秋葉原	1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo
OSAKA	☎ 06-645-8787
NIPPOMBASHI 日本橋	4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

ご注意 所在地、電話番号が変更になることがありますので、予めご了承ください。

首都圏地区	
お客様ご相談センター	銚子 ☎0479(33)2723 銚子市野尻町1854
首都圏 ☎03(3435)9521 東京都港区芝公園 1丁目1の2	船橋 ☎0474(23)7565 船橋市市場4丁目 12の17
修理相談窓口	柏 ☎0471(63)8905 柏市北柏1丁目7の6
宇都宮 ☎0286(32)8450 宇都宮市中央1丁目 8の13	東京 ☎03(5477)9780 東京都世田谷区経堂 5丁目26の8
高崎 ☎0273(52)1217 高崎市萩原野沖中 205の18	甲府 ☎0552(22)5171 甲府市下飯田2丁目 1の27
両毛 ☎0276(25)6870 太田市東新町244の1	横浜 ☎045(743)7090 横浜市保土ヶ谷区 狩場町169
水戸 ☎0292(25)0119 水戸市柳河町309の2	新潟 ☎025(286)0171 新潟市東明1丁目 8の14
つくば ☎0298(55)7860 つくば市梅園2丁目 1の13	佐渡 ☎0259(23)2898 両津市秋津字境 108の1
埼玉 ☎048(728)8960 桶川市赤堀2丁目4の2	長岡 ☎0258(28)2111 長岡市寺島町308の20
千葉 ☎043(251)3537 千葉市稲毛区園生町 369の1	上越 ☎0255(44)6871 上越市大字藤野新田 字大割353の3
木更津 ☎0438(25)1125 木更津市貝淵4丁目 17の8	

中部地区	
お客様ご相談センター	松本 ☎0263(58)0073 松本市大字笹賀 7600の7
中部 ☎052(951)3167 名古屋市東区泉1丁目 23の30	静岡 ☎054(287)9000 静岡市西島765
修理相談窓口	名古屋 ☎052(614)3136 名古屋市南区 西又兵衛町3の48
石川 ☎0762(94)2683 石川県石川郡 野々市町稲荷3丁目80	岐阜 ☎0583(23)6010 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30
富山 ☎0764(32)8705 富山市寺島1298	高山 ☎0577(33)0613 高山市花岡町3丁目82
福井 ☎0776(54)5606 福井市開発4丁目112	三重 ☎0592(55)1380 久居市森町北谷 1920の3

関西地区	
お客様ご相談センター	大阪 ☎06(359)6225 大阪市北区本庄西 1丁目1の7
関西 ☎06(949)2050 大阪市中央区城見 2丁目1の61	奈良 ☎07435(9)2770 大和郡山形市椎木町 404の2
修理相談窓口	和歌山 ☎0734(33)9395 和歌山市本町9の23
滋賀 ☎0775(82)5021 守山市勝部町260	神戸 ☎078(612)5035 神戸市長田区上池田 5丁目5の23
京都 ☎075(672)9636 京都市南区 上烏羽石橋町20の1	

中国地区	
お客様ご相談センター	岡山 ☎086(292)1162 岡山県都窪郡早島町 矢尾807
中国 ☎082(242)9511 広島市中区国泰寺町 2丁目3の23	津山 ☎0868(23)1264 津山市北園町22の8
修理相談窓口	広島 ☎082(230)8777 広島市西区楠木町 4丁目9の26
鳥取 ☎0857(26)9695 鳥取市安長295の1	福山 ☎0849(53)8115 福山市卸町2の14
米子 ☎0859(34)2129 米子市米原4丁目 2の33	尾道 ☎0848(20)2401 尾道市東尾道11の22
松江 ☎0852(23)1128 松江市西津田2丁目 10の19	徳山 ☎0834(22)1627 徳山市浦山開作 8211の5
出雲 ☎0853(21)3133 出雲市渡橋町416	山口 ☎0839(89)4441 山口市大字佐山 1120の1
浜田 ☎0855(22)6629 浜田市下府町327の93	下関 ☎0832(56)4597 下関市秋根北町5の7

四国地区	
お客様ご相談センター	高知 ☎0888(66)3142 南国市岡豊町中島 331の1
四国 ☎0878(51)3338 高松市古新町8の1	東予 ☎0897(33)6157 新居浜市庄内4丁目 4の21
修理相談窓口	松山 ☎0899(71)2106 松山市土居田町 750の2
香川 ☎0878(74)6200 香川県綾歌郡 国分寺町新名663の1	宇和島 ☎0895(25)6280 宇和島市中沢町1丁目 5の43
徳島 ☎0886(54)1123 徳島市中昭和町 5丁目55	

九州地区	
お客様ご相談センター	宮崎 ☎0985(85)6530 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366の2
九州 ☎092(414)3039 福岡市博多区博多駅 南1丁目2の13	延岡 ☎0982(22)1138 延岡市御本町1の30
修理相談窓口	都城 ☎0986(22)2014 都城市平江町2街区 13号
福岡 ☎092(593)9036 春日市春日公園 3丁目48	熊本 ☎096(367)6067 熊本市健軍本町12の3
佐賀 ☎0952(26)9151 佐賀市本庄町 大字本庄896の2	八代 ☎0965(34)5611 八代市本野町2571の1
長崎 ☎0958(57)4050 長崎市赤迫町597	天草 ☎0969(22)3125 本渡市港町18の11
佐世保 ☎0956(31)8719 佐世保市日宇町 2787の6	鹿児島 ☎0992(50)5657 鹿児島市与次郎1丁目 7の36
大分 ☎0975(56)3815 大分市萩原4丁目 8の35	薩摩 ☎0996(25)2239 川内市永利町703の2
中津 ☎0979(24)6150 中津市大字万田612の1	鹿屋 ☎0994(44)7031 鹿屋市共栄町20の9
日田 ☎0973(24)6464 日田市玉川町3丁目 554の2	大島 ☎0997(53)5101 名瀬市矢之脇町 10の15

沖縄地区	
修理相談窓口	北部 ☎0980(52)3458 名護市宇字茂佐914の3
沖縄 ☎098(877)1205 浦添市城間4丁目 23の11	中部 ☎098(933)4010 沖縄市山内2丁目26の6

参
考

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お近くの当社 ご相談センター	☎ () -	品 番	RX-DT45

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

RQT2702-S

F0994L0